

どう考える？

松山分水問題

(公明党西条市議団)

問

平成25年5月29日、市長

は松山市長を表敬訪問したが、松山市への分水問題が起つて以来、西条市長がわざわざ松山市長を訪問して分水の議論を行うということは考えられず、その真意がどこにあるのか理解できない。両者会談で、どのような話し合いが行われたのか。

また、平成25年3月定例会では、「分水問題の議論は一日も早く終止符を打ちたい」との答弁があった。県営黒瀬ダム水を含む加茂川から松山への分水問題の最終判断に向け、議論をどう進めていくのか。

答

松山市長との個別会談では、地域の現状や課題について情報交換をするとともに観光などを中心とした協力を約束した。併せて、本市が道前平野地下水資源調査研究委員会から答申を受けた地下水維持に関する調査結果を、愛媛県、西条市、新居浜市、松山市で構成する水問題に関する協議会の幹事

会に報告すると伝えたもので、松山分水の意見交換を行つたといふことではない。

また、水問題に関する協議会

は、松山分水に関して協議する場ではなく、加茂川及び黒瀬ダムの水資源の有効活用、その他

の水問題に関する協議を行い、他の有効活用を通して地域の発展に資することを目的とするもので

ある。西条の水をいかに守つて

いくかということは新居浜市や松山市の協力をいただきながら、

県と西条市とが主体的に考えていくことである。

西条市民の圧倒的な声は「松山分水に反対」ということであ

り、それを受けて分水の議論に終止符を打つために努力していることは市長の使命であると考えている。政治生命を懸けて守り抜くという心構えで取り組んでいきたい。

マタニティマークなどの看板設置の考えは？

(公明党西条市議団)

問

近年、全国各地の駐車場において、障害者など専用の駐車場に車いすマークだけ

ではなく、マタニティマーク

答

現在、本市の公共施設は、本庁及び各総合支所、福祉施設、学校など全部で378か所あり、障害者用などの駐車場として140台分に障害者マークやシルバーマークを路面に直接表示している。マタニティマーク

を表すマークやハート・プラスマークの看板を設置している所を多く見かける。新庁舎駐車場をはじめ、本市の主な公共施設の障害者用駐車場などの看板についても、車いすマークやマタニティマーク、ハート・プラスマークを表す考えはない。



※ハート・プラスマーク 身体内部に障害がある人

※マタニティマーク
妊娠婦が交通機関などを利用する際に身につけ、周囲が妊娠婦への配慮を示しやすくするもの



どうなるの？

地区公民館の体制変更

(無会派)

問

地区公民館の体制変更について、教育委員会が各

地区で集約した意見にはどのようにものがあつたのか。

また、各地域での意見を踏まえた上で、当初、本年7月に新体制に移行することであつたが、体制変更の目標時期及び現在勤務している嘱託館長並びに主事の雇用について、どのように考えているのか。

答

各地区公民館の協力委員会などでの主な意見としては、「館長を常勤から非常勤

とするメリットはあるのか」「地

などの看板については、本市におけるノーマライゼーションの推進、マークに対する啓発の観点からも必要であると考えており、本庁については、新庁舎建設に伴う駐車場整備の中で設置する予定である。その他既存の施設の駐車場への看板の設置は、多くの部署にまとがつておらず、今後、関係各課と前向きに協議、検討していきたい。

また、非常勤館長については、ことから、各地区公民館の協力委員会などに地域から推薦を依頼しており、地域の中で調整できた公民館について、本年7月又は来年4月から、順次新体制へ移行していきたい。なお、吉岡・田野の両公民館については、既に本年4月から新体制となっている。

現在勤務している嘱託の館長及び主事については、非常勤公民館長を除く嘱託職員は65歳で定年としているが、65歳以下の現職館長で雇用の継続を希望する場合には、地元公民館の非常勤館長、又は主事としての雇用のほか、他施設などへの異動も含め、できる限り本人の希望に沿えるように調整することとしている。また、主事については、これまでと同様に希望があれば雇用を継続していくこととしている。